

## 第30回KBMAチャリティゴルフコンペ 開催

令和3年10月20日(水) 瑞穂ゴルフ倶楽部

10月20日(水)、瑞穂ゴルフ倶楽部において、京都ビルメンテナンス協会主催で第30回目のKBMAチャリティゴルフコンペが総勢26名参加のもと開催されました。今年も例年6月開催しておりましたが新型コロナウイルスの状況に合わせ、順延となり緊急事態宣言が明けた10月での開催となりました。当日は強風に悩まされながらも少し紅葉が始まった丹波の秋晴れの中、スタートいたしました。広い瑞穂のグリーンに苦戦しながらも午後からは快晴の中、それぞれが気持ちよくプレ<ゴルフコンペ結果発表>

順位	氏名	OUT	IN	グロス	ハディ	ネット
優勝	山本 哲二 株LEE	40	40	80	8.4	71.6
2位	山下 耕平 双葉メンテナンス工業株	41	48	89	15.6	73.4
3位	藤井 忍 株オンリー	44	44	88	14.4	73.6



ーを楽しめました。ラウンド終了後の表彰式も密を避けるということで表彰式を開催せず、プレー終了後各自解散となりましたが、事務局より織田さん臼井さんが動画や写真撮影班として応援に来ていただき盛り上がりを見せました。コロナ前のチャリティコンペと比べると少し寂しいチャリティコンペとはなりましたが、各組で情報交換と懇親を深められたのではないかと思います。 広報委員会 山下 耕平

第30回 KBMA チャリティゴルフ MOVIE→  
<https://youtu.be/XPHaN6qVKLU>



## 第7回KBMAボウリング大会 開催

令和3年11月12日(金) 18:30より ラウンドワン京都河原町店

11月12日(金)ラウンドワン京都河原町店にて第7回KBMAボウリング大会が開催されました。昨年は新型コロナウイルス感染拡大防止の為に中止となりましたが、今回は新型コロナウイルス感染症対策としてソーシャルディスタンスを意識し又、検温実施等対策をしての開催となりました。参加15社45名がスタートの合図をもとに一斉にボールをレーンに投げました。今回は海外からの実習生も参加しておりました。各レーンごとの写真を事務局から撮影に来ていただき、スタート前には全体写真をとるなど楽しい雰囲気となりました。各レーンごとに仕事とは違ったコミュニケーションが取れていたかと思えます。感染症対策として終了次第各自解散の形をとられ成績発表は協会ホームページに掲載となりました。

当日に、個人賞1~3位 当日賞 とび賞 BB賞を受賞された方の笑顔が見られないのが少し残念でしたが盛大にボウリング大会を開催することができました。

賞品の協賛をいただきました企業様には心よりお礼を申し上げます。次回、開催時には新型コロナウイルス感染も終息をして参加人数がさらに増えての開催を期待しております。

広報委員会 藤井 正人  
第7回 KBMA ボウリング大会 MOVIE→  
<https://youtu.be/KAYdw5umAOQ>



## 貯水槽清掃作業従事者研修 開催

令和3年11月18日(木) 9:30~18:10 京都パルスプラザ5階 第3会議室



昨年に引き続き京都パルスプラザの会議室をお借りし開催されました。今年度は参加申し込みが多数あり24名での開催となりました。当協会会長の藤井忍会長から開会の挨拶を頂き研修会が開会されました。研修は、京都府健康福祉部生活衛生課 伊藤様から、建築衛生法の内容説明として「建築物衛生法を中心とした関係法令について」に始まり、京都府府民環境部公営企画課 福永様から、事例などを用いて分かり易く「水と健康について」の講義をいただきました。その後、厚生労働省登録講師の森 貞文氏、志田光則氏、井上 洋氏からカリキュラムに沿って、「作業の安全と衛生について」「給水設備と機器について」「貯水槽の清掃方法について」「貯水槽

の消毒方法について」「貯水槽の塗装方法について」の講義を頂きました。受講生の皆さんの真剣に聞き入る姿勢から、講義内容の意味と意義を真剣に考えているように見受けられて、今後の業務に必ず活かしていただけるという思いを持ちました。長時間の講義の締めとして、公益事業委員会 井上副委員長より、閉会の挨拶と修了証書が渡されて研修は終了となりました。講義の冒頭に知事登録制度の話があり、「登録していないからと言って業務が出来ないわけではない」という事を仰ってましたが、研修を受講した事は、業務に対する法的知識と技術知識を身に付けている事の証明になり、仕事をしていく上で大切な、「安心」と「信頼」をお客様に持ってもらえるという事が大きな意義になるのではないかと思います。来年以降もこの研修で、多くの技術者が法的知識と技術知識を身に付ける事を願いたいと思います。

受講生の皆さんお疲れ様でした。講師の皆様ありがとうございました。 広報委員会 岡松 猛